

(11) 日本特許庁 (JP)

(12) 公開実用新案公報 (U)

(13) 実用新案出願番号

実開平6-56310

(4) 公開日 平成6年(1994)8月5日

(5) (a) (i)

ED05 15/04
B27H 3/04

類別記号 症内登録番号

F 7005-2C
2103-2B

F

技術表示箇所

請求項文 有 請求項の點 I FD (全2頁)

(21) 出願番号

実願平5 2898

(22) 出願日

平成5年(1993)1月7日

(71) 出願人 000204985

大連工業株式会社

富山県東新潟郡井波町井波1番地の1

(72) 著者 山上 皓

大阪市北区中之島2-3-18 大連工業
株式会社内

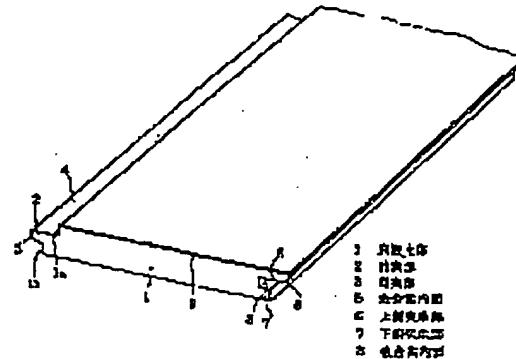
(74) 代理人 井理士 山本 孝

(54) 【考案の名称】 床 面

(57) 【要約】

【目的】 本並木板の床面が内側に傾斜して施工性に優れた床板を提供する。

【構成】 床板主体1の一側端部中央に実設した傾斜部2の先端面を上端から下端中央部に向かう円弧状の底合室内面5に形成すると共に該傾斜部2の上面を傾斜の底合平坦面4に形成する一方、他側端部中央に凹設した傾斜部3の上側突角部6を下側突角部7よりも大きく突出させると共にその突出端面を円弧状の底合室内面8に形成した構造を有し、先に施工した床板の傾斜部2の傾斜底合平坦面4上に次に施工する床板の傾斜部3の上側突角部6の内側部底合室内面8を当接させ且つ下側突角部7の先端を傾斜部2の円弧状底合室内面5に当接させた状態にして嵌め合わせるように構成している。



【实用新案登録請求の範囲】

【請求項1】 一定厚みを有する長方形形状床板主体の一側面の中央部に嵌合部を、他側面の中央部に嵌合部が嵌合可能な形状を有する嵌合部を夫々設けてなる床板において、嵌合部の上面突出部を下面突出部よりも幅広い嵌合平坦面に形成すると共には嵌合部の突出部の上面から嵌合部の下面間を斜め内方に傾斜する円錐状の嵌合突出部を形成し、さらに、嵌合部の上下突出部における上側突出部を下側突出部よりもその突出端を長く形成していると共にその突出端を上端から嵌合部の端口より端部に向かって斜め内方に傾斜する円錐状の嵌合突出部を形成していることを特徴とする床板。

【図面の簡単な説明】

【図1】本考案床板の一部を示す斜視図。
【図2】その底断面図。

【図3】施工状態を示す断面図。

【図4】組合した状態の断面図。

【図5】嵌合部を示す断面図。

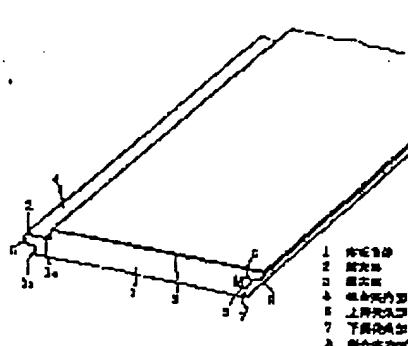
【図6】その施工状態を示す断面図。

【図7】他の構造を有する嵌合部の断面図。

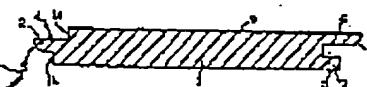
【符号の説明】

1 床板主体
2 嵌合部
3 嵌合部
4 嵌合平坦面
5 嵌合突出部
6 上側突出部
7 下側突出部
8 嵌合突出部

【図1】



【図2】



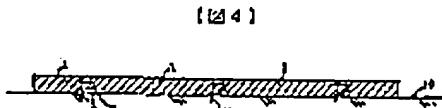
【図3】



【図7】



【図4】



【図5】



【図6】

